

# トルコの循環型経済形成事情調査

—存在感を増す中堅大国トルコの循環型経済戦略に学ぶ—

## 参加のご案内



調査期間：2026年4月20日（月）～4月28日（火）

9日間

調査団長：佐藤 泉(弁護士)

旅行実施：ティ・シイ・アイ・ジャパン株式会社

(観光庁長官登録旅行業第1139号、JATA正会員)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3階

TEL: 03-3508-1972 FAX: 03-3592-1853

# トルコの循環型経済形成事情調査

## —存在感を増す中堅大国トルコの循環型経済戦略に学ぶ—

### 実 施 要 約

#### 趣旨 :

トルコ共和国は、古代文明からオスマン帝国を経て近代国家へと発展し、今日では「東西の架け橋」として国際政治・経済において重要な役割を果たしている。歴史的に多様な文明の影響を受けたこの国は、今もなお世界の安定と対立の両方に関わる存在である。

日本とトルコの現在の関係は、互いを「戦略的パートナー」と位置づける緊密な友好関係にある。2024年に外交関係樹立100周年を迎えた両国は、政治・経済・文化など多岐にわたる分野で協力関係を深めている。経済面では日本企業のトルコ進出が進み、経済連携協定(EPA)締結に向けた交渉も活発化している。また、文化交流や観光促進も盛んで、両国間の人的往来も年々増加傾向にあり、この現在の関係の根底には、明治時代にまで遡る深い歴史的絆がある。その象徴的な出来事が1890年のエルトゥールル号事件である。その後1985年、イラン・イラク戦争の際には日本人をトルコ機が救出するという「返恩」の出来事もあり、このように両国の関係は互いの危機に際して助け合った経験を基盤と、「困ったときの友」としての信頼関係が築かれている。歴史を通じて培われた相互理解と尊重の精神が、現在の多面的かつ戦略的な協力関係を支えているのである。

トルコ環境都市気候変動省は、「国家循環型経済戦略・行動計画(2025~2028年)」という循環型経済国家を目指した野心的な国家戦略を掲げた。世界的に存在感を増す中堅大国トルコの国家戦略・行動計画の目指すところを実地に視察調査することで今後の我が国における循環型経済国家づくりへ寄与することとする。

- 旅行期間 2026年4月20日(月)~4月28日(火) 9日間
- 団長 佐藤 泉(弁護士)
- 視察調査先(予定)
  - イスタンブール**  
※ISTAC(イスタキ)
    - イスタンブール首都圏の廃棄物管理
  - ※ISTAC各施設現場視察**
    - 家庭廃棄物、医療系廃棄物、最終処分場など
  - ※HUR Plastik**
    - 廃プラスチックサイクル
  - ※GCL グループ**
    - 電子廃棄物と金属回収
- アンカラ  
※トルコ環境、都市化と気候変動省
  - トルコの循環型経済への移行を目指す意欲的な国家戦略について
- 視察経費 900,000円(二人部屋利用)
- 募集人員 20名(最少催行人員15名)
- 締め切り日 2026年2月27日(金)

# 日 程 表

2026年12月17日作成

日数	月 日	曜	都 市 名	現地時間	交通機関	摘 要
1	2026年 4月20日	月	東京(羽田) 発 イスタンブール 着	08:15 15:25	NH-219 専用バス	全日空にて、イスタンブールへ (イスタンブール泊)
2	4月21日	火	イスタンブール		専用バス	●ISTAC - イスタンブール首都圏の廃棄物管理 ●ISTAMIC 各処理施設現場視察 - 家庭廃棄物、産廃、最終処分場等 (イスタンブール泊)
3	4月22日	水	イスタンブール		専用バス	●HUR Plastik -廃プラスチックサイクル ●GCL グループ - 電子廃棄物と金属回収 (イスタンブール泊)
4.	4月23日	木	イスタンブール 発 アンカラ 着	17:00 18:10	専用バス TK-2166	午前： イスタンブール市内観光 (ブルーモスク、トプカプ宮殿等) 午後： 首都アンカラへ (アンカラ泊)
5	4月24日	金	アンカラ ↓ ギョレメ		専用バス	●トルコ環境都市化と気候変動省 - 循環型経済への戦略とアクションプラン  午後、カッパドキアのギョレメへ (ギョレメ泊)
6	4月25日	土	カッパドキア		専用バス	世界遺産カッパドキア観光 ・ギョレメ野外博物館 ・3姉妹の岩 ・カイマクム地下都市 ・鳩の谷 等 (ギョレメ泊)
7	4月26日	日	カッパドキア ↓ ネヴシェヒル 発 イスタンブール 着	15:45 17:20	専用バス TK-2007	・パシヤバ一野外博物館 ・ラクダ岩 ・ギョレメの谷 等見学 空路、イスタンブールへ (イスタンブール泊)
8	4月27日	月	イスタンブール 発	17:25	NH-220	午前：視察調査の資料整理  全日空にて、帰国の途へ (機中泊)
9	4月28日	火	東京(羽田) 着	10:50		

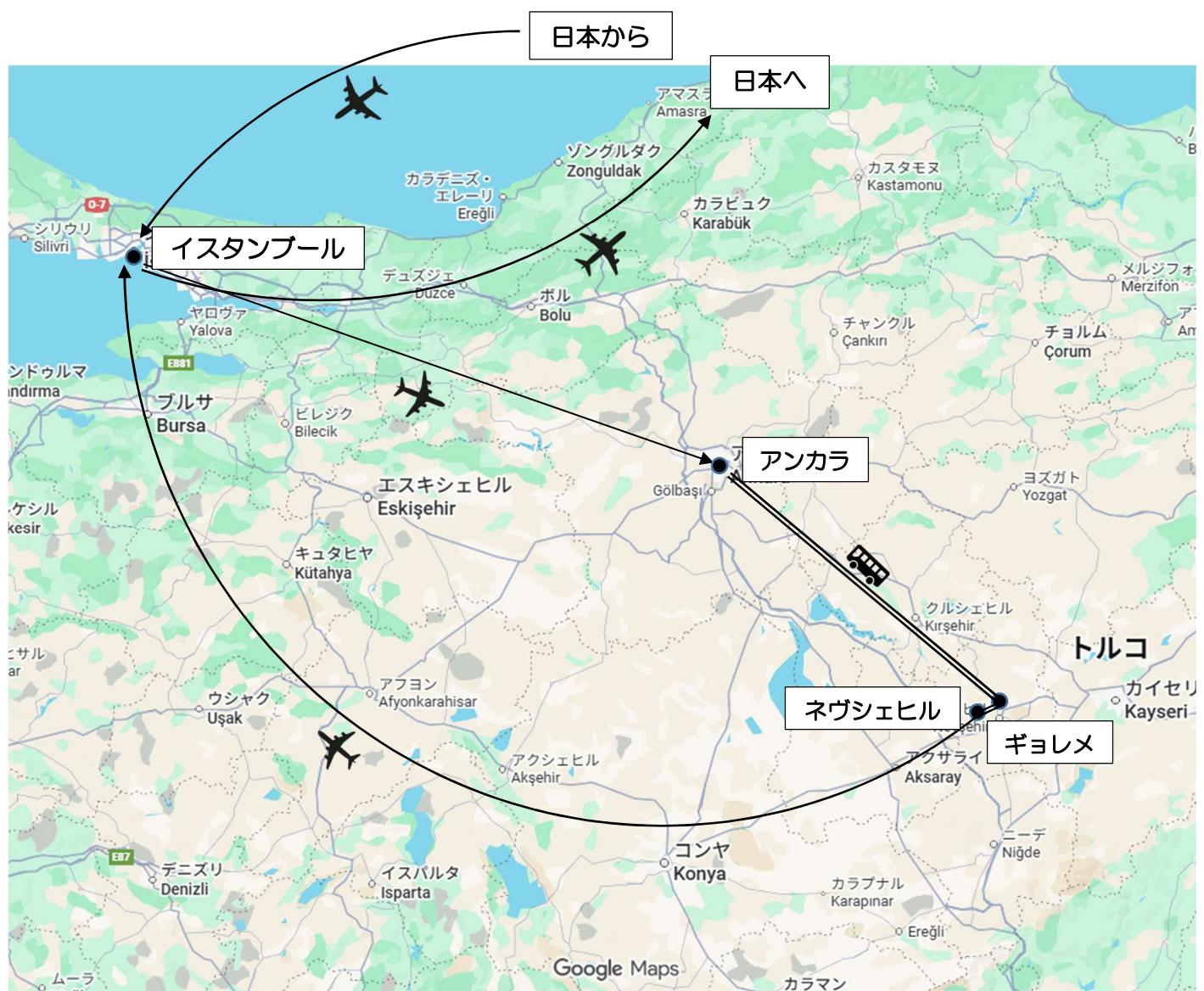
この日程表は作成当日の最新の資料に基づいていますが、将来、運輸機関の運航スケジュールの改訂、  
その他の理由により予告なしに変更される場合もございます。

# 行程図

航空機



専用バス



# 視察先リスト

4月21日(火)

イスタンブール

ISTAC(イスタチ)

## - イスタンブール首都圏自治体の子会社による廃棄物管理

イスタンブール首都圏自治体の子会社である İSTAÇ は、1994 年にトルコ初の規制対象埋立地を設立し、運営を開始し、将来の世代に住みやすい都市を残すことを目指して廃棄物および環境管理の分野でサービスを提供している。人口増加と個人廃棄物量の増加に伴って加速する廃棄物発生による環境被害を可能な限り防止し、限りある天然資源の利用を削減することで自然を保護し、廃棄物による温室効果ガスの排出を削減することを目指して、İSTAÇ は以下の活動を行っている。

### 廃棄物管理

- 都市ごみ(家庭ごみ)管理
- 廃棄物流、埋立、リサイクル、処分
- 医療廃棄物管理
- 産業廃棄物管理
- 挖削廃棄物管理
- 船舶廃棄物の管理

### 清掃活動

- 都市清掃(主要幹線道路と広場 - 機械清掃と手作業清掃)
- カーペットクリーニング
- 海岸とビーチの清掃
- 海面清掃
- 底泥浚渫、除去および脱水

### リサイクル活動

- 堆肥生産
- ATY プロダクション
  - 紙、プラスチック、繊維、木材廃棄物からの ATF の製造
  - 枝や小枝の廃棄物からの ATY の生産
- 発電
  - 埋立地ガスからのエネルギー生産
  - 燃焼によるエネルギー生成
  - バイオメタン化によるエネルギー生産
- 水処理サービス
  - 埋立地浸出水処理管理

### プロジェクトおよびコンサルティングサービス

## 一イスタチの運営する施設訪問

### • ケメルブルガス廃棄物・消却エネルギー生産施設

2021年第4四半期に開設された廃棄物焼却・エネルギー生産施設は、日量3,000トン、年間約100万トンの処理能力を有し、「ヨーロッパ最大の廃棄物焼却・エネルギー生産施設」の称号を得ている。この施設は、イスタンブルの家2001年に設立されたリサイクル・堆肥化施設は、1日あたり500トンの廃棄物処理能力を持ち、有機廃棄物から年間平均12,500トンの堆肥を生産している。リサイクル・コンポスト施設で生産された堆肥は、イスタンブル首都圏公園・庭園局が市内各地で実施する植林・造園プロジェクトに利用されている。リサイクル・コンポスト施設内の選別ユニットに運ばれる混合家庭ごみは選別され、リサイクル可能なPEおよびPP廃棄物からPETフレークが製造される。このようにして、プラスチック廃棄物は処理され、経済に還元され、環境への潜在的な悪影響が防止される。

### • 最終処分場(エネルギー施設)

#### 固体廃棄物中継ステーションの運営

\*\*イスタンブルでは、毎日平均18,000トンの家庭ごみが発生している。この家庭ごみのうち約12,500トンは、240台のトラックからなるイスタチ輸送車両によって、イスタンブルのアナトリア側とヨーロッパ側にあるイスタチ固体廃棄物処理施設、およびケメルブルガズにある家庭ごみ焼却・エネルギー生産施設に輸送されている。

イスタンブル市は、アナトリア側とヨーロッパ側の両方に合計9つの固体廃棄物中継センターを運営している。さらに、2つの固体廃棄物中継センターが完成次第、稼働を開始する予定である。

#### 通常の保管

イスタンブルで毎日収集される平均18,000トンの家庭ごみのうち、リサイクルおよび回収プロセスで残される約12,500トンは、空気、土壤、水、および人間の健康に害を及ぼさない方法で、イスタンブルの規制された埋立地に廃棄される。

毎日発生する廃棄物12,500トンのうち約7,000トンはシリウリ・セイメン廃棄物処理施設で、1トンはエユプスルタン・オダイエリ廃棄物処理施設の埋立地で、6,000トンはシレ・コムルジュオダ廃棄物処理施設で処分されている。24時間稼働の埋立地の設計と運用においては、不浸透層の構築、廃棄物の拡散と圧縮、中間カバーの構築、浸出水の収集と処理、そして埋立地ガスの収集と制御が、処分プロセスから生じる潜在的な悪影響を防ぎ、地下水と表層水を保護する。家庭排水の55倍も汚染されている浸出水は、浸出水処理プラント(MBR+NF)で処理される。浸出水には窒素化合物が含まれているため、硝化プロセスと脱窒プロセスによる生物学的処理が行われる。生物学的処理後、限外濾過(UF)によって液相と固相(細菌)が分離され、ナノ濾過膜によって色、臭気、硬度、不活性CODパラメータが除去される。

### • 医療系廃棄物処理施設

当社は、世界基準を満たす最新の施設と設備を使用して、イスタンブル首都圏のすべての医療施設で発生した医療廃棄物を収集、滅菌、焼却し、環境や人々の健康に害を及ぼさないよう努めている。ISTACは、アナトリア側のヘキムバシュとキュチュクバッカルキヨイ、ヨーロッパ側のエユプトクルチの合計4か所で、規則で指定された機器を備えた認可を受けた医療廃棄物収集車両64台を使用して、医療廃棄物収集サービスを提供している。イスタンブルでは、9,000以上の医療施設から毎日平均90トン収集され、オダイエリ施設に運ばれる医療廃棄物の約15%が、1日24トンの処理能力を持つロータリーキルンを備えた医療廃棄物焼却施設で、最低850~1200°Cの温度で焼却され、発電に利用されている。残りの85%は、1日144トンの処理能力を持つ医療廃棄物滅菌施設で、1.5トン/時の処理能力を持つオートクレーブ4台を使用して滅菌。すべての滅菌プロセスは継続的に監視されており、感染リスクをゼロにまで低減している。その後、医療廃棄物は、特別に設計された廃棄物輸送車両を使用して、規制された埋立地に輸送され、処分されている。

4月22日(水)

イスタンブール

HUR Plastik

### - 廃プラスチックリサイクル

HÜR PLASTİK GERİ DÖNÜŞÜM LTD STİは、1980年にケナン・ベルベル氏によって設立され、プラスチックリサイクル業界に参入した。1993年に操業を開始した。

Hür Plastikは、この時期に組織化され、現在、PP、PE、HDPEなどの材料を顆粒状にリサイクルするとともに、PET材料をフレーク状にリサイクルしている。3つの施設と28,000平方メートルを超える屋内スペースを有し、年間3万トン以上のプラスチックとPETのリサイクル能力を誇る、ケミカルリサイクル、メカニカル・オーガニックリサイクル、サーマルリサイクルといった新技術を開発してきた。ケミカルリサイクルは、プラスチック廃棄物を化学プロセスによって元の原料に戻すことを可能にし、メカニカル・オーガニックリサイクルは、プラスチック廃棄物を有機物と混合することで新しい製品を生み出すことを可能にする。一方、サーマルリサイクルは、プラスチック廃棄物を高温で分解し、元の原料に戻すことである。

### ビジョン

Hür Plastikのビジョンは、環境に配慮し、持続可能で革新的なアプローチによって、リサイクル業界のリーダーとなることである。先進技術と最新のイノベーションを常に取り入れ、製品の品質を常に向上させている。

お客様中心の姿勢で、業界最高のサービスを提供することを目指し、廃プラスチックが自然界に与えるダメージを最小限に抑え、これらの廃棄物をリサイクルによって再利用するための革新的な方法を開発し続ける努力を続けている。

### 使命

Hür Plastikの使命は、廃プラスチックのリサイクルにおいて環境に配慮したアプローチで業界のリーダーとなり、持続可能な未来の実現に貢献することである。人々の健康や環境に悪影響を与える廃プラスチックを廃棄するのではなく、再利用することで環境汚染を防ぎたいと考えている。革新的な技術と最新設備を駆使し、高品質な再生プラスチックを生産している。さらに、お客様のニーズに応えるソリューションを提供するため、研究開発にも力を入れている。

4月22日(水)

イスタンブール

GCL Recycling & Refining

### - 電子廃棄物と貴金属回収

GCLは、電子廃棄物と貴金属回収のあらゆる側面に特化した国際的なリサイクルおよび取引グループである。2014年にトルコのイスタンブールで設立された。GCLはわずか15名の従業員で事業を開始したが、わずか10年で、現在では世界13か所のリサイクル施設と回収センターに約500名の従業員を擁す。GCLは、トルコで最も経験豊富な電子廃棄物管理チームであり、当社の施設では、様々な種類の電子廃棄物をリサイクルし、廃棄物内の物質を効率的に分別し、新たな原材料としてエンドユーザーに提供している。

- 3大陸13か国に500人以上の従業員。
- 電子廃棄物からだけでも、年間450トン以上の銅、2トンの銀、400キログラムの金を回収。
- 年間300トン以上の自動車触媒をリサイクル。

## **廃車触媒**

自動車の排気ガスには、一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物など、多くの有害化合物が含まれている。自動車の排気ガス中のこれらの有害化合物の量は法律で定められており、排気ガスシステムに触媒コンバーターを設置することで低減できる。自動車用触媒は、これらの有害化合物の90%以上を、より有害性の低い二酸化炭素と水蒸気に変換する。

電気自動車の販売台数は2040年までに5,600万台に達し、自動車市場全体の約57%を占めると予測されている。これは、電気自動車が市場を席巻するまで、すべての車両に自動車触媒が搭載される必要があり、これらの触媒は今後20~25年間、廃棄物として処理されることを意味する。

白金、パラジウム、ロジウムは、これらの自動車触媒の主要成分であり、現在、この種の触媒反応において同等の特性を持つ、これより安価な材料は存在しない。

すべての新車に触媒コンバーターを装備する必要があり、自動車登録台数が着実に増加しているという事実に基づくと、白金族金属（PGM）の需要は継続的に増加する。

触媒コンバータ 1 個あたり約 1g から最大 15g の白金族金属（PGM）が含まれていることを考慮すると、パラジウム、白金、ロジウムの主な用途はこの分野であると容易に推測できる。だからこそ、自動車触媒内の貴金属を回収し、再利用する必要がある。

GCL は多くの国で自動車触媒を収集し、ヨーロッパと日本のソリューション パートナーを通じて貴金属回収のためにリサイクルしている。

## **リサイクルプロセス**

触媒が製油所に配達されてから3営業日以内に、サンプリングと蛍光 X 線分析（XRF）が利用可能になる。正確な値を決定する化学分析（ICP）は、通常、XRF 分析の7~10日後に利用可能になる。

## **産業用触媒**

バイオガスプラント、石油精製所、コーヒー焙煎工場など、多くの産業では、排出ガス削減のために様々な触媒を使用している。自動車用触媒と同様に、プラチナやパラジウムなどの貴金属は、その優れた物理的特性から、産業用途に使用されている。

これらの触媒群の価値は、自動車用触媒用に校正された XRF 装置では実際の価値とは大きく異なる結果を示す可能性があるため、化学分析によってのみ決定する必要がある。GCL は、使用済み産業用触媒をお持ちのお客様に精製サービスを提供している。

## **天然資源の保全:**

リサイクルは、古い電子機器から貴重な材料を回収し、新しい製品の製造に再利用することを可能にする。その結果、エネルギーを節約し、汚染を減らし、温室効果ガスの排出量を削減し、地球から採取する原材料の量を減らすことで天然資源を節約できる。

## **環境保護:**

電子廃棄物のリサイクルにより、電子廃棄物に含まれる水銀、鉛、カドミウムなどの有毒化学物質を適切に処理および管理できる。

## **雇用の創出:**

電子廃棄物のリサイクルにより、専門のリサイクル業者に新たな雇用が生まれ、リサイクルされた材料の第2の市場が生まれる。

## **埋め立て地を節約:**

電子廃棄物のリサイクルにより、不必要的廃棄物や埋め立て地を削減する。

GCL リサイクル&リファイニングは、リサイクル事業を通じて多くの貴金属を回収することで経済に貢献している。これらの金属には、銅、金、銀、パラジウムなどが含まれる。

## **銅:**

銅は耐久性に優れ、長寿命で、生活のあらゆる用途に使用できる。優れた導電性のため、あらゆる電子機器に広く使用されている。電子回路基板には平均 20%の銅が含まれている。

## **銅に関する事実:**

1. 平均的な人は、今日の生活水準を維持するためだけに 700kg の銅を使用する。（コンピューター、電話、自動車など）
- 2 銅は天然の抗菌作用がある。真鍮製のドアノブ、手すり、フィンガープレートは公共施設に最適で、細菌の拡散を防ぐ。
3. 平均的な家庭には、電気配線、配管、電化製品などに使用されている銅が 200kg ある。平均的な車には 50kg の銅が使用されている。

GCL は収集した電子廃棄物から毎年 450 トン以上の銅をリサイクルしている。

## **金:**

金は、伝統的な貨幣価値や象徴的価値以外にも、様々な用途がある。高い耐久性、優れた導電性、耐熱性、耐腐食性を備えているため、あらゆる電子機器に使用されている。

## **金に関する事実:**

1. 金は黄色、つまり「金色」の金属として唯一認められる。他の金属も黄色を帯びることがある。ただし、それは酸化されたり、他の化学物質と反応したりした後にのみ発生する。
2. 地球上の金のほぼすべては、地球が形成されてから 2 億年以上後に地球に衝突した隕石から生まれた。
3. 金は非常に延性があり、わずか 1 グラムの金で 1 平方メートルの面積を覆うことができる。

GCL は収集された電子廃棄物から毎年 400kg 以上の金を回収している。

## **銀:**

宝飾品としての使用に加え、銀の半分は電気・電子産業でバッテリー、携帯電話、コンピューターなどさまざまな用途に使用されている。

## **銀に関する事実:**

1. 銀は元素の中で最も優れた電気伝導体であり、他の導体の基準として用いられている。0 から 100 のスケールで、銀の電気伝導率は 100 である。銅は 97、金は 76。車のリアウインドウに見える線は銀でできており、冬場の氷の融解に使われる。
2. 銀は古代から知られており、最初に発見された 5 つの金属の一つで、人類は紀元前 3000 年には銀と鉛を分離する方法を知っていた。銀製品は紀元前 4000 年以前にも発見されており、この元素が発見されたのは紀元前 5000 年頃と考えられている。
3. 「銀」と「お金」を表す単語は 14 の言語で同じである。GCL は収集された電子廃棄物から毎年 2,000 kg 以上の銀を回収している。

## **パラジウム:**

パラジウムは1802年に発見され、6つの白金族金属の1つであり、宝飾品、電子機器、自動車産業で使用されている。

### **パラジウムに関する事実:**

1. 世界のパラジウム供給量の半分以上は、自動車や内燃機関を搭載したその他の機械用の触媒コンバーターの製造に使用されている。
2. パラジウムの鉱床は希少だが、南アフリカ、カナダ、ロシアで発見されている。世界のパラジウム需要の多くは、触媒コンバーターのリサイクルによって賄われている。
3. パラジウムは生物学的に不活性な元素であり、アレルギー反応を引き起こす可能性が比較的低いため、ジュエリーに最適な金属の1つである。

GCLは毎年500kg以上のパラジウムを回収しており、この量の60%は自動車触媒から回収されている。

**4月24日(金)**

**アンカラ**

**トルコ環境都市気候変動省**

### **－トルコの国家循環型経済戦略・行動計画**

トルコ環境都市気候変動省は10月18日、「[国家循環型経済戦略・行動計画（2025～2028年）](#)」を発表した。循環型経済への移行を加速し、天然資源保護、輸入依存度の低減、国際競争力強化などを目指したもので、「循環型製品」「優先分野」「廃棄物の防止と削減」「循環型経済の拡大」「水平展開」「進捗状況のモニタリング」の6つの戦略目標を掲げている。

また、原材料の消費量と環境への影響が最も大きい7つの重点分野として、包装、電池・車両、建設・建物、電子機器・情報通信技術（ICT）、食品・バイオマス、プラスチック、繊維が定められている。今後、53の具体的な行動計画が44の機関や組織の責任の下で実行される計画となっている。ムラト・クルム環境都市気候変動相は「2053年ネットゼロエミッション目標と循環経済への移行に向け、廃棄物コストの削減などを通じて年間最大3,500億トルコ・リラ（約1兆2,600億円、1リラ=約3.6円）の経済効果の還元、10万人以上の新規雇用の創出を目指す」としている。

# 参加募集要項詳細

旅行代金：900,000円

募集人員：20名程度（最少催行人員15名）

申込み締切日：2026年2月27日（金）

## 【旅行代金に含まれるもの】

交通機関の費用：旅行日程に記載の航空運賃（エコノミークラス）

バス料金：旅行日程に記載の移動及び調査、視察のための専用バス料金（ガイド・通訳料含む）

宿泊料金：各地における下記ホテルの2人部屋に2人迄

イスタンブール：クラウンプラザ アンカラ：ラディソン・ブル

ギョレメ：ミスラ・ケイプホテル（洞窟ホテル）

食事料金：朝食7回、昼食7回、夕食7回

団長経費：全行程同行いたします。

視察費用：レクチャー実費、訪問に際して要する経費等

訪問先への謝礼：各訪問先担当者へのお土産代他、謝礼等

通訳経費：各都市トップレベルの逐次通訳に関わる経費

添乗員経費：全行程に渡り旅行会社の添乗員が同行いたします。

## 【旅行代金に含まれないもの】

燃油サーチャージ：

空港税等：各国空港諸税、空港施設使用料、旅客保安サービス料等

渡航手続実費：旅券印紙代（数次5年間10,000円、数次10年間15,000円）旅券新規取得者

個人的費用：クリーニング代、電話電報代、超過手荷物料金、任意の旅行保険料、その他の個人的性質のもの

一人部屋追加料金：175,000円

ビジネスクラス追加代金：700,000円（トルコ国内移動はエコノミークラスなります。）

## ご旅行条件（要旨）

※お申し込みの際はかならずこの旅行条件書を十分にお読み下さい。

### ● 受注型企画旅行契約

- (1) この旅行は、ティ・シイ・アイ・ジャパン株式会社観光庁長官登録一般旅行業 1139号（以下「当社」といいます）が受注型企画旅行を取り扱い、この旅行に参加されるお客様は当社と受注型企画旅行契約を締結することになります。
- (2) 受注型企画旅行契約の内容・条件は、当パンフレット以外に、契約月日による当該募集型企画旅行約款に基づく受注型企画旅行契約書、及び出発前にお渡しする旅行確定書面によります。

### ● 旅行のお申し込み

所定の申し込み用紙に所定の事項を記入し、お一人様につき5万円の申し込み金を添えてお申し込み頂きます。申込書は、ファックス送信でも受付させて頂きます。

### ● 旅行契約の成立時期

上記お申し込み金の受理をもって、契約成立とさせていただきます。尚、申し込み金受領後詳しい条件記載の、旅行契約書を発行させて頂きます。

### ● 旅行代金のお支払い

旅行代金は、出発日の前日から起算して10日前までに、残金（申し込み金を差し引いた金額）をお支払い頂きます。残金を受理後、速やかに最終旅行確定書面（更に詳しい旅行条件書）を発行させて頂きます。

### ● お客様からの旅行契約の解除

お客様は、いつでも次に定める取消料（お1人様につき）をお支払いただくことにより、旅行契約を解除することができます。この場合、既に收受している旅行代金（あるいは申し込みから所定の取消料を差し引き払い戻し）致します。申し込み金のみで取消料に不足する場合は、その差額を申し受けます。

出発の前日より起算して次の取消料を申し受けます。

☆ 出発の40日前から31日前まで	80,000円
☆ 出発の30日前から3日前まで	旅行代金の20%
☆ 出発の2日前から旅行開始当日まで	旅行代金の50%
☆ 旅行開始後	旅行代金の100%

但し、弊社営業時間内といたします。

（営業時間 平日09:00～18:00 土・日・祝休み）

### ● 当社による旅行契約の解除（旅行開始前）

当社は次ぎに掲げる場合において、旅行契約を解除することができます。

- (1) お客様が病気その他の事由により、当該旅行に耐えられないと認められたとき。

- (2) お客様がその他のお客様に迷惑を及ぼし

又は団体旅行の円滑な実施を妨げる恐れがあると認められたとき。

- (3) 参加者の数がパンフレット等に記載した最少催行人員に達していないかったとき。この場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって24日目に当たる日より前に旅行を中止する旨を通知します。

- (4) 天災地変、戦乱、運輸機関等における争議行為、官公署の命令その他の当社で管理できない事由によりパンフレット等に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、又は不可能となる恐れが極めて大きいとき。

● ご旅行条件・ご旅行代金の基準 この旅行条件は2022年4月6日を基準としています。又、旅行代金は2022年4月6日現在有効な運賃・規準として算出しています。

取扱旅行会社：ティ・シイ・アイ・ジャパン株式会社

観光庁長官登録旅行業1139号（社）日本旅行業協会正会員

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3階

Tel: 03(3508)1972 Fax: 03(3592)1853

担当：小林

総合旅行業務取扱管理者：畠山 信一

# 参加申込書

※ 記入事項に基づいて、ご渡航に必要な書類を作成いたしますので、わかりやすく楷書でご記入下さい

申込先FAX : 03-3592-1853

出発日 : 2026年4月20日(月)

観光庁長官登録旅行業第1139号  
ティ・シイ・アイ・ジャパン株  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20  
虎ノ門実業会館3階  
TEL:03(3508)1972 FAX:03(3592)1853

フリガナ				性別	男 · 女	
氏名						
生年月日	昭和 年 月 日 (西暦 年) 平成 年齢 才			本籍地	都道府県	
フリガナ				TEL		
現住所	〒					
勤務先  注) 英文名称等指定のある場合は必ずご記入下さい。	和文	名称 部課名 役職名				
	英文	名称 部課名 役職名				
	住所	〒	TEL			
			FAX			
		携帯				
e-mail:	@					
渡航中の連絡先	住所 1. 現住所と同じ 2. 〒			TEL		
				携帯		
	フリガナ				続柄	
旅券について  ** 残存期間 ** 2026年9月17日以降有効な旅券が必要です。	旅券番号		発行年月日 年 月 日			
			失効年月日 年 月 日			
	現在申請中	受領予定日	2026年 月 日			
	持っていない	申請予定日	2026年 月 日			
	パスポート記載のローマ字 又は これから申請(済)するローマ字					
	姓		名			
	有効なパスポートをお持ちの方はお写真のページのコピーも添えてください。					
一人部屋追加	<input type="checkbox"/> シングル部屋利用【別途: 175,000円】 <input type="checkbox"/> ツイン部屋利用 【同室の方のお名前: ]					
海外旅行保険	<input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 各自にて加入 フランスでは海外旅行保険(シェンゲン協定加盟国内で有効、医療費補償が最低EUR3万、滞在期間をカバー)の加入が望ましい。					
飛行機のクラス	<input type="checkbox"/> ビジネスクラス利用【別途: 700,000円掛かります】 <input type="checkbox"/> エコノミークス利用					
マイレージ番号	全日空のマイレージ登録が可能です。 NO :					

(個人情報の取扱について)

ご記入頂きました個人情報につきましては、ティ・シイ・アイ・ジャパン株がご旅行に関わる手配業務に利用致します。(航空機、ホテル手配、出入国書類作成、査証代理申請、緊急連絡先確認等)これら目的以外に無断で利用することはありません。尚、ご提出頂きました個人情報は弊社にて厳重に管理いたします。